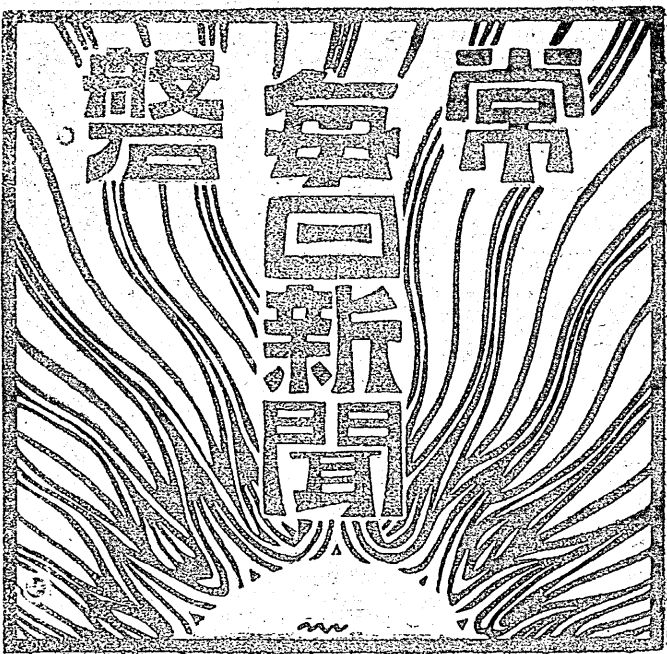


印刷所 常磐新聞社 電話三〇七番



刊夕日九月六

印刷所 常磐新聞社 電話三〇七番

看護婦派出の求めに應ず 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

常磐文藝 高月會 菜を賣りて戻りに買ふや鯉 襦袢 牛城 初孫や行末鯉の瀧のぼり 夢吉 大空に男自慢の職かな 揚臺 裏住居床に武者繪の初節句 耕影 初職武者振る子等や菖蒲大 同 刀 立て並ぶ子福長者の職かな 鶏山 落魄の中に嬉しき内職 雪村 嫁して十年始めて仰ぐ鯉職 松重 陽炎 陽炎や社頭の乞食居睡れる 大北 陽炎や良寛坊がわんの中 牛玉 船底を干す川岸や陽炎立つ 松重 松重陽炎や碑文を刻む石の上 牛城 雨晴れて傘乾す庭や陽炎す 雪村 陽炎や友禪かゝる竿の上 揚臺 陽炎や嵐山の松に又水に 夢吉 陽炎や佛が臍の溜り水 叟石

評判第一 久保田パン

平手錦鞭 平田町六十五番地

流水錦 琵琶教授

銘酒久山 開業大賣出し 最上味噌醬油 大勉強!!! 金澤屋酒店 平町長橋町通り 薄利多賣

是非 粹上品な下駄を 御求めの際は 三井ハキモ店 (番六五一話電) 日丁二町平

奥様方に 洗濯しな さいる時 には 大徳印コナ 石鹸をお使 になる様 に お願いす ます 市販賣店 重寶で 済む ます

新聞道徳に就て(六) 門傳清吾氏(寄) 第四 誠實、眞實、正確、謙遜、對し誠實ならば凡ての價値あるジャーナリズムの基礎を爲すものなり。(イ)凡ての事柄に對し誠實ならんことを必ずや新聞は眞實を守らざるべからず、内にして其の事の範囲に於いて、其の不周到、不正確に對し、辯解の術あるべからず。(ロ)記事の見出しなるものは其の内容を裏切るが如きものたるべからず、即ち羊頭を掲げ、肉を賣るが如き爲すべからざるべし。第五 公平、新聞に於いては事實の報導と意見とは、截然別すべきなり。事實の報導は意見又は嗜好の爲に束縛さるべからざるものとする。

(イ)然るに此法則は所謂特別寄稿(或特殊の人が署名し自己の所見を述べるもの)に適用すべきにあらず。(ロ)藝術の批評家たる者は藝術上の知識に基けるオリソリテイと理解に基ける同情と、自由にして且つ獨立せる判断を所有し居らざるべからず。第六 公明正大、新聞は公沙汰になり居ざる事件にして人の名譽又は道徳性を毀損するが如き事柄を公表すべきに非ず。(イ)新聞は一般公衆の要求の確實にあらざる限り、要るべき個人の権利及び感情の範疇に侵入すべからず。(ロ)新聞は個人のステートメントを本人の許可を得ずして之を公表するの権利を有するに非ず。(ハ)自己の記事の誤謬を迅速且完全に訂正する事は其の出所の如何を問はず、新聞の特權たると同時に之亦義務なりとす。第七 言論を謹みて禮を失せざることを如何に新聞に於いて高級なる道徳を鼓吹するも、他方、於いて下劣なる行動の煽動を爲す、如き記事(即ち犯罪、惡徳を細叙する等のこと)に依りて、社會に對し好影響の結果を掲載せんとし、新聞記者は、以上述ぶるもの新聞記者の遵守すべき法則なり。然れども此の法則は之を強制する機關存するに非ず、唯若し吾人にして此の法則に違反せんか、遂に社會の不信を招き、不評を呼び、更に同業者の爲めに排斥せらるるに至るべし、然るが故に記者たる吾人は、専心以て之を服せしめ、其の職分を全ふせんことを期して止まらざるものなり。(完)

三大新映畫上場!!! 泰西 活劇 雲間の月 全四卷 目下大好評の連続映畫 花の春遠山櫻 最終篇 全十二卷 芦屋映畫 現代 死線を越て 全六卷 其の他實寫喜劇數種 帝キネ 直營 帝國館 電話五五五番

好店 買イ好店 良品の安値 クイーンズリ 関内藥舖 藥劑師 関内栄助 電話四〇番

町平船 吉田眼科醫院 評判に勝る實質! 最高級「サツク」萬年筆 需要者渴求の的となれり 一つの事實は尊し 平町三丁目 高倉萬年筆製作所

東新株 先物 相場後場共入電致居候 平町町 電話三三二番 丸登株式店 川添房二郎

Table with exchange rates for various banks and locations. Includes columns for bank names (e.g., 平銀行, 警城銀行, 同新), exchange rates, and locations (e.g., 錦格, 拂込, 時價).

市況甚だ不振な

石城春爾の初取引

賣手買手日和見の姿で

形勢甚だ不安

石城地方の春爾は去六日小川豊間外二三ヶ所に早掃の出走り約六百貫を見せたが各問屋共まだ見本を睨んだばかりで商談整はず當地の産爾頭には相武方面の夫れに比し幾分好況を示すものと豫想して居たのに五日に於ける横濱の糸況が千五百圓の關門を破れるが如き形勢甚だ不安な爲め賣手買手何れも日和見の姿であつて市況極めて閑散であるが今八日は何れにしても取引さるべく問屋側の豫想は後下りと見て居るらしいが果してどう行くものか兎に角

平町の.....

御祝儀相場

昨日大泉にて

本町南町大泉商店に於て昨日仲買商の手にて爾の初取引あつたが相場は白爾優等一貫外に付七圓三十錢並物七圓内外にて壹百貳拾七貫五百匁黃爾優等七圓五十錢並六圓五十錢にて四十三貫六百匁の取引をなす但し今後の相場は安模様にて何れも人氣は沈靜なり

命は貰つた

追跡して脅迫

石城郡窪田村酒井勿來炭礦支柱夫福岡縣鞍ヶ郡下境村生れ與古光信雄(二)は去年廿二日午後九時半頃同礦坑

社告

川崎社長扁排腺炎にて臥床治療中の爲め本日は御覽の如く不體裁の紙面で申譯ありません

乳房で

平署で取調べ

石城郡神谷村大字上神谷儀平妻佐川はなよ(三)は五日平窪村大字下平窪の實家小野清次郎方に赴き一泊し六日午前二時長女(一)を乳房で窒息せしめ平署の取調べを受けた

燐寸の火から

一二反歩焼く

松山で喫煙し石城郡窪田村酒井農荒川彌

四郎(三)は去月廿二日午後三時頃同村不動澤地内荒川タマ所有の松山通行中喫煙し煙草の吹殻より失火し山林約二反歩を焼拂約百圓の損害を生せしめたるにより失火罪として送検さる

小川郷驛で

二百圓を拾ふ

遺失者が判明

石城郡神谷村大字中神谷木村みよは小川郷驛で下車した際金三百圓煙草入れ在中の風呂敷包みを拾得平署に

小名濱水産試験場に

無線電話 縣參事會に提案

漁業界に至大の便益

総工費は九千圓

本縣では水産試験場所屬船磐城丸に無線電信機を裝置して天候暴風の警戒報その他急報を要する漁業關係事項の通信に於て、ゐたが同船は受信機を備へてゐるだけであつたが、鮎子、犬吠岬、船橋等からの発信を受信するに更によつて石城沿海の關係

カテイラン

醬油の徵豫防

夏は醬油がかびて困るものですが、醬油一斗につき芥子種が、けしの實を二匁くら白麻の袋に入れて醬油の中へ入れておくと、微を防ぐ事ができます、また唐辛子を醬油一升の中へ二三本入れておいてもよろしい

鐵瓶の.....

サビをとる法

鐵瓶は玉蜀黍を食へたあと

届出でたが田村郡瀧根村神侯驛前吉田安藏の遺失したものと判明六日六十二圓の報勞金を受けた

坑夫同十喧嘩

平町南町當時石城郡窪田村勿來坑神崎組小林長吉(一)は去る三月九日午後十時頃飯場臺所に於て窪田村白米水戸要太郎と會飲痴情問題より喧嘩を始め要太郎の後頭部其他を毆打し疾病休業七日間の傷害を加へたるにより取調の上書類のみ検事局に送る

善一美一

石城郡山田村本年壯丁適齡者三十六名は去月廿七日検査の際協議の上母校に金一圓宛卅六圓を體操機械購入費に寄贈した

ヒロイモ

△平町南町鹽田兵四郎氏は三日平カフエー前にて腕巻金時計△石城郡神谷村大字鎌田字岸鈴木新平氏は三日平館前にて廿六圓十錢在中の皮裏口△平町鍛冶町門林淺三氏は平銀行前にて四圓五十錢及び萬年筆其他在中の黒皮シース△平町二丁目陣野文藏氏は去月卅日大屋前にて荷車一輪△同町鍛冶町佐藤武男氏は同日新川町月見橋にて金腕時計を夫々拾得此程平署に届出たの般でござれば、錆びが取れます、内部の錆びたのは水をとりかへては氣永に湯を沸すよりほかに致方ありません、金氣の出るのは薩摩芋を入れて二三度煮るとよくなりますまた小豆を煮るのもよろしいのです。使つたあとは必ず湯をこぼして一寸火にかざして内部の水分をすつかり乾かしておかなくてはなりません。

加藤高明子に

後繼内閣組織の

大命降る

攝政宮殿下には今朝京都から歸京した徳川待從長の復命による西園寺公の奏薦を喜納せられ直ちに加藤子を赤坂離宮に召され午前十一時十五分後繼内閣組織の大命を降せらる (十二時着電)

去月中成績

肥料資金が多く 平町所在の警城銀行五月中の貸出し高は五萬四千五百七圓五十九錢で最高利率三

梅雨の衛生

梅雨期は下水流し元便所等が極めて不完全な爲めに昨今腸チブスが猛烈な勢ひで流行し小兒の疫病も昨年よりはすつと多い様であるが先づ第一の豫防としては努めて汚物を取除く事、溝へ撒布蒲團衣類其他の汚れ物等は入梅前に於て悉く洗濯をし

家庭で製する事が出来るし最も効能ある傳染病豫防劑である、乳劑の作り方は石油一合石鹼十匁の中へ四合の温湯を入れたもの石灰乳は苛性石灰一分へ水十分を除々に入れて掻き廻したものを二ツ共極めて簡單である之を便所流し元、溝へ撒布し尚梅雨の爲め井水はさし水の爲め非常な不衛生となるから井水消毒の爲めには

此期は特に生物腐敗に傾きたるもの等の注意が大切であるが、特に牛乳は眞夏よりも腐敗し易い時であるから乳兒及病人の爲めには母親は一層の注意を要する何となしに身体がだるく熱があり一向に食慾のない場合は直ちに醫師の診察を受けねばならぬ、チブスの初期は斯様な病状を示すもので此間別に吐瀉も下痢もない爲めに普通一般に肌寒いを輕視する爲めに大多数が失敗してゐる

募集

文藝其他一般投稿を募集します